



毛利元就入城500年記念事業・2023年安芸高田市歴史民俗博物館秋季企画展

元就生涯の城

興禪寺

五間たまり所番衆

満願寺

尾崎

かさ

おれうの寺

堀

惣普請

まる

本城

毛利氏×郡山城

2023

10/28(土) ▶ 12/4(月)

安芸高田市歴史民俗博物館

〒731-0501 広島県安芸高田市吉田町吉田278-1 TEL (0826) 42-0070

[開館時間] 9:00~17:00 [休館日] 火曜日、11/24(金) [入館料] 500円、中学生以下無料

◆展示解説

・期間中毎週日曜日11時~ (予約不要)
(解説) 副館長 秋本 哲治





毛利元就入城500年記念事業
2023年秋季企画展

毛利氏×郡山城

－元就生涯の城－

毛利元就が甥幸松丸の死去により27歳で家督を相続し郡山城に入城して今年で500年。これを記念して本拠郡山城をテーマとして開催する企画展です。郡山城の歴史や、城内での元就や家族の暮らし、城の構造などを古文書（国重文14点を含む）や絵図、遺構や遺物などから紹介します。

見どころ

- ◆ 郡山城のルーツ？「吉田城」記載の文書（吉川史料館蔵）
- ◆ 元就家督相続時一連の文書（毛利博物館蔵）
- ◆ 郡山での相撲開催の文書（山口県文書館蔵）
- ◆ 輝元上洛直前の石組工事指示の文書（洞春寺蔵）
- ◆ 郡山城内での主な表採遺物を一同に展示



毛利元就郡山入城日記

毛利博物館 重要文化財

大永3年（1523）、元就が毛利家の家督を相続するまでの経過を記した日記



穂田元清書状

大阪城天守閣

文禄年間（1592～1596）とみられる書状。広島築城後も郡山城が維持され参会の場となっていたことを示す



木造不動明王立像・木造毘沙門天立像

清住寺

満願寺に安置されていたという平安時代作の木造千手観音菩薩立像（国重文）の脇侍。いずれも室町時代作の一木造

※資料保護のため全期間展示されない資料もあります



三の丸跡採集 軒丸瓦片 軒平瓦片

城内では平瓦・丸瓦が採集され、16世紀末（輝元期）の郡山城中心部に瓦葺建物があったことを示すが、軒瓦は表採は極めて希少

【郡山城略年表】

奈良時代	郡山山麓に高宮郡衙（役所）設置。（山名由来） 中腹に満願寺創建（伝承）
1336年	毛利時親、河内国より安芸国吉田荘に入部
1352年	毛利元春、「吉田城」（位置は不明）に籠る
15世紀中頃	恒常的な郡山城の維持管理の記録
1523年	元就家督相続、郡山入城
16世紀中頃	郡山全山城郭化
1588年	輝元、郡山城の改修計画指示。 上洛後広島築城を決定
1591年	輝元、広島城に入城（郡山城は維持）
1600年	関ヶ原合戦後、毛利氏防長へ転封。郡山城廃城

入城500年関連イベント

◆その1 第4回公開講座「毛利元就・隆元父子の国づくり」 －元就の家督相続をめぐって－

10月29日（日） 13：30～15：30
〔講師〕 柴原直樹氏（毛利博物館長）

◆その2 記念シンポジウムⅠ（第5回公開講座）

「毛利氏×尼子氏－元就の家督相続をめぐって－」
11月19日（日） 13：30～16：30
〔出演〕 秋山 伸隆氏（県立広島大学名誉教授）
長谷川博史氏（島根大学教育学部教授）

◆その3 記念シンポジウムⅡ（第6回公開講座）

「郡山城×富田城－戦国大名の本拠－」
12月3日（日） 13：30～16：30
〔出演〕 小都 隆氏（日本考古学協会会員）
舟木 聡氏（安来市教育委員会文化課専門官）

※その1～その3 市民文化センター4階小ホール
要申込・500円（入館料込）

◆その4 多治比猿掛城ガイドツアー

11月12日（日） 13：30～16：00 旧丹比西小学校集合
〔ガイド〕 秋本哲治（当館副館長）
〔定員〕 25名 要申込10/21～・500円（入館料込）

◆その5 郡山城ガイドツアー「生誕500年毛利隆元編」

11月26日（日） 13：30～16：00 当館集合
〔ガイド〕 秋本哲治（当館副館長）
〔定員〕 15名
〔コース〕 本城～尾崎丸～本丸～元就墓所～隆元墓所
要申込10/21～・1,000円（入館料・タブレット代込）

※その4・その5いずれか1回のみ申込可、中学生以下無料

【問い合わせ】

安芸高田市歴史民俗博物館
<https://www.akitakata.jp/ja/hakubutsukan/>
☎0826-42-0070

